

Polimill、「自治体総合フェア 2024」に出展 【生成 AI 活用事例紹介】デジタル公共財活用の衝撃！

～誰でも簡単に使える「自治体向け目的特化型生成 AI」が膨大な専門知識の社会実装をサポート～

会期:5月15日(水)~17日(金) 場所:東京ビッグサイト 西3ホール

Polimill 社メンバーもセミナーに登壇いたします。

「自治体総合フェア 2024(以下自治体総合フェア)」は、自治体経営の革新を推進するとともに、地域住民が真に豊かさを実感できる魅力ある地域社会の実現を図ることを目的とした、「公民連携」をテーマにした総合展示会です。1997年に第1回を開催し、今回で28回目を迎えます。

Polimill 株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役:横田えり、以下 Polimill 社)は、5月15日(水)~17日(金)に開催される「自治体総合フェア」に出展し、社会課題や困りごとの解決に誰でも参加できる新しい SNS『Surfvote』を自治体が活用した事例、そして自治体向け目的特化型生成 AI を展示紹介します。また、5月15日(水)13:00からは Polimill 社メンバーによるセミナーも開催いたします。

◆「自治体総合フェア」開催概要

- 会期:2024年5月15日(水)~17日(金) 10:00~17:00
- 会場:東京ビッグサイト 西展示場・西3ホール
- 展示エリア:「庁内マネジメント」「情報化推進」「住民窓口」
「スマートなまちづくり」「地域振興」「住民の安全安心」
「健康福祉・こども未来」
- 主催:一般社団法人 日本経営協会



◆Polimill 社出展概要

【出展ブース】

- 日時:2024年5月15日(水)~17日(金) 10:00~17:00
- ブース:L-18
- 出展内容①
社会課題や困りごとの解決に誰でも参加できる新しい SNS 「Surfvote」
- 出展内容②
自治体向け目的特化型生成 AI 「DIGITAL COMMONS」
- 導入先:官公庁、自治体等



地域の課題や困りごとを 이슈として Surfvote に掲載、意見を集めることができる

【セミナー情報】

- 日時:2024年5月15日(水)13:00~13:30
- 会場:西展示場・西3ホール セミナーB 会場
- 登壇者:Polimill 株式会社 ストラテジー・マエストロ ジュリアン・プロディ
ブランド・エバンジェリスト 伊藤 あやめ
- テーマ:【生成 AI 活用事例紹介】デジタル公共財活用の衝撃！
- ~誰でも簡単に使える「自治体向け目的特化型生成 AI」が膨大な専門知識の社会実装をサポート～
- 概要:自治体の実証実験を開始した「DIGITAL COMMONS」について、自治体の活用事例とともに紹介。

項目	東村山市	三鷹市
2020年	23,306	43,562
2030年	23,207	44,629
2040年	21,736	45,620

このデータによると、東村山市の単独世帯数は2020年から2040年にかけて減少する見込みです。一方で、三鷹市の単独世帯数は2020年から2040年にかけて増加する予測されています。

次に、これらの市の特徴と規模について詳細な情報を調査し、人口成長戦略の提案を行います。それぞれの市の公式ウェブサイトなどから情報を集めます。

【本案内状に関するお問い合わせ先】

Polimill 株式会社 広報

担当:伊藤・坂口 press@polimill.com 080-9998-7596

◆Polimill 株式会社について

Polimill 社は社会課題や困りごとの解決に誰でも参加できる新しい SNS【Surfvote】を運営・提供する ICT スタートアップ企業です。

Surfvote は現在、一般社会についての社会課題と各地方自治体の抱える社会課題 (Surfvote ローカル) を掲載。ひろくみんなが意見を言える場を提供しています。

あらゆる人がルール作りに参加し、価値観の変化やテクノロジーの進化に合わせた柔軟でスピーディーな制度改革ができるような社会を、SNS とテクノロジーで実現させたいと考えています。

◆取り組みのご紹介(一部)

1. 社会課題や困りごとを「イシュー」として毎日配信

Surfvote ではイシューを毎日配信。

イシューを執筆しているのは、100 名を超える各分野の専門家や大学の先生、Surfvote 編集部、そして地方自治体です。

地方自治体は、各自治体の首長やさまざまな部署が Surfvote にイシューを掲載し、全国からひろく意見を集めるツールとして活用しています。

Surfvote に訪れればさまざまな社会課題をだれでも簡単に学び、考えることができます。



2. 省庁・自治体サポート AI「DIGITAL COMMONS」自治体の実証実験開始

DIGITAL COMMONS (デジタルコモンズ) は、特定の課題分野で大幅に強化された生成 AI です。国内外の法律・政策・政府発表資料、学術論文、調査報告書、ホワイトペーパー、各自治体固有の情報、東京都オープンデータなど膨大な量のデジタル公共財を学習し、各省庁や自治体の特徴や課題に沿った専門的なアドバイスやサポートをしてくれるサービスです。

この DIGITAL COMMONS は自治体での導入が始まっており、今後もさらに多くの自治体へ展開していきます。



◆Polimill 株式会社 会社概要

本社所在地	: 東京都港区六本木 7-14-23
会社設立	: 2021 年 2 月
代表者	: 横田えり
事業内容	: 社会課題や困りごとの解決に誰でも参加できる新しい SNS「Surfvote(サーフポート)」の開発・運営 省庁・自治体サポート AI「DIGITAL COMMONS(デジタルコモンズ)」の開発・運営

【本案内状に関するお問い合わせ先】

Polimill 株式会社 広報

担当: 伊藤・坂口 press@polimill.com 080-9998-7596